

## 会議録

会議の名称	平成 27 年度第 1 回西東京市地域計画策定普及推進委員会
開催日時	平成 27 年 11 月 10 日（火） 午後 7 時 00 分から午後 9 時 15 分まで
開催場所	西東京市役所 防災センター 6 階講座室 1
出席者	<p>【委員】熊田委員、伊藤委員、芦野委員、中原委員、篠宮委員、中野委員、島田委員、渡辺委員、野間委員</p> <p>（欠席）丸木委員、飯野委員</p> <p>【事務局】生活福祉課長、生活福祉課調整係長、生活福祉課調整係主査</p>
議題	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>（1） 前回会議録の確認について</p> <p>（2） 第 3 期西東京市地域福祉計画取り組みの状況（報告）</p> <p>（3） 地域福祉コーディネーター事業報告（平成 26 年分）</p> <p>（4） 「地域に居場所を求める方への支援」について（報告）</p> <p>（5） 講話「制度の狭間」を支援するシステムとコミュニティソーシャルワーカーの機能－西東京市における実践の分析を通して－</p> <p>（6） 講話「市民のできる事～見守る、つながる、参加する～」</p>
会議資料の名称	<p>資料 1 平成26年度第 1 回西東京市地域福祉計画策定・普及推進委員会会議録</p> <p>資料 2 第 3 期西東京市地域福祉計画取り組みの状況</p> <p>資料 3 平成26年度地域福祉コーディネーター事業報告</p> <p>資料 4 地域に居場所を求める方への支援（現時点のまとめ）</p> <p>資料 5 「制度の狭間」を支援するシステムとコミュニティソーシャルワーカーの機能－西東京市における実践の分析を通して－</p> <p>資料 6 西東京市まちづくりサミット 市民のできる事～見守る、つながる、参加する～</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p style="text-align: center;">—————欠席委員の確認（欠席：丸木委員、飯野委員）—————</p> <p>【議題 1 前回会議録の確認について】</p> <p style="text-align: center;">—————資料 1 により内容確認/修正なし・承認—————</p>	

【議題2 第3期西東京市地域福祉計画取り組みの状況】

————資料2により、事務局から説明————

- 委員長 質問等ありますか。
- 委員 調査を行い、課題等が見えてきたが、今後はどのように対応するのか。
- 事務局 それぞれの課で課題を、認識しているので対応を促す。また、取組によっては、単年度での評価が難しいものもあるので、それについては、複数年度にわたっての取組の成果を期待したい。
- 委員長 見えてきた課題については、今後の計画の改定などの際にも、検討してもらいたい。
- 委員 基本目標2の「みんながつながりあう地域づくり」の実施状況が92%とあるのは評価できる。一方で基本目標5の「災害や犯罪を防ぐ環境づくり」の実施状況が46.1%と言うことで、この実施状況を上げていくことがこれからの課題だと思う。全庁的に取り組んでもらいたい。
- 委員 実施状況と貢献度の指標については、ほぼ同じ数値が表れているが、「実施した＝貢献した」とはならないものもあると思う。
- 事務局 現在は、評価を担当課に委ねているが、自己評価ではなく外部の評価を加えることも考えられる。

【議題3 地域福祉コーディネーター事業報告（平成26年分）】

————資料3により、事務局から説明————

- 委員長 質問等ありますか。
- 委員 「継続相談」にカウントしているものは、どのようなものか。
- 事務局 1つの事案について、複数回の相談があり、現状で解決・終了していないものを「継続相談」としているが、中には、間が長く空いて相談があったり、連絡がないままのものがあったりなど、終了しているのか、していないのかが判然としていないものも含まれている。
- 委員長 地域福祉コーディネーターは、様々な対象者を対象としているので、相談の内容も複雑なものが多いことが推察される。多くの関係機関と連携しながら対応していき、「継続相談」にカウントされる事案が少なくなってもらいたい。
- 委員 「出向いての相談」とあるが、どのようなものか。
- 事務局 イベント等で外出した際などでの、相談などがここに含まれる。

○委員長 報告の内容についての意見としては、総じて良く取り組んでもらっていると思うが、一方で、相談件数が増加してきているという状況の中では、コーディネーターに対するフォローの体制等が重要である。推進員数の増加や居場所づくりを進めることで、市民からの相談が、コーディネーターに集中することを緩和できるような方策も必要と考える。いずれにせよ、この仕組のメンテナンスについても、行政は念頭に置いてもらいたい。

【議題4 「地域に居場所を求める方への支援」について（報告）】

————資料4により、事務局から説明————

○委員 「居場所」が必要という事については、多くの人の合意を得られるところだと思うが、その運営の仕方であったり、担い手であったりと言うところで、単に「場所」があればよいというものではない。「居場所あり方」については、丁寧な検討が必要だと思う。また、「居場所」と称していない場所、例えば、デパートのベンチであったりとか、に集う高齢者の方等がいると思うが、それらの方にとっては、その場所は大切な「居場所」であると思うので、その方々を見守る人も必要だと思う。

○委員 自分がその立場だったとしてどのような場所ならば行くかと考えると、「自分が必要とされる場所」でないと行かないと思う。高齢者や子ども、こういった人が必要とされる場所として、モデルケースを育てていった方が良いと思う。そういった場所を育てることが支援につながると思う。

○委員長 居場所については、現在地域福祉の分野では、トレンドであるが、クオリティの高い居場所を広げていけるように取り組んでもらいたい。

【議題4 講話「制度の狭間」を支援するシステムとコミュニティソーシャルワーカーの機能—西東京市における実践の分析を通して—】

————資料5により、委員長から説明————

○委員 改めて、西東京市のほっとネットの取組が、素晴らしいものであることを認識できた。

○委員長 西東京市の地域福祉コーディネーターの良い所は、地域福祉コーディネーターの取組を計画に位置付けていることであり、非常に評価できる点である。市がバックアップできる点大きい。西東京市では当たり前の取組ではあるが、全国的にみると先進的な取り組みだという事を認識してもらいたい。

**【議題5 講話「市民のできる事～見守る、つながる、参加する～」】**

————資料6により、委員から説明————

- 委員長 地域で住民同士が「つながる」ためには、何が重要と考えるか。
- 委員 元々つながりを持っている人ではなく、つながることを求めている人たちをつなげることなので、基本的には、非常に難しいことだと思う。そういった中でも、先ほどもお話しがあったが、「役割」「必要とされている」中で、何かをお願いするのが良いと思う。「助けてあげる」ではなくて、こちらが「助けてもらう」「力を貸してもらう」という形だと、お互い気持ちよく関係づくりができると思う。
- 委員 無理につながる必要はなく、必要な時につながればよいと思う。なので、行政も必要とする人が来た時に、紹介できる情報を多く持っていれば良いのだと思う。

**【その他】**

- 委員長 その他事務局から、何かありますか。
- 事務局 次回の開催については、連絡する。